

## 留学だより Vol.2

こんにちは。カナダのブリティッシュコロンビア州に留学中の15期生の武井です。こちらに来て2か月近くが経ちました。こちらの生活に慣れてきた一方で、時間が早く過ぎるのに驚いています。今月は前の号から変わったことと、私の学校について紹介していきたいと思います。

### 1. 天気

日本も同じだと思うのですが、最近とても寒いです。元々雨がたくさん降る地域というのもあり、10°Cを超える日が少ないです。また、高緯度に位置しているということとサマータイムがそろそろ終わるところということもあり、朝起きててもまだ外が暗いです。霧が出て真っ白な日もあります。



朝 7:30 頃の外



霧が出た日の外

### 2. cougar が出た話

先月熊や鹿が道に出るといった話をしたと思うのですが、先日 cougar が近所で出ました。cougar とは何かというと、ピューマのような肉食獣のことです。道で出くわしてしまうともうどうしようもないので、一人で出歩くことができなくなりました。動物による危険がある中で暮らしたことがないので少し怖いですが、家畜などが狙われないといいなと思いました。



↑ cougar ～校章になっています～

### 3. 学校

#### 1-1. カナダの教育システムについて

まず、カナダの教育がどのような仕組みで行われているのか説明します。カナダの連邦政府には教育省にあたるものがなく、日本のように統一された教育制度也没有。代わりに各州に教育を担当する省庁が設置されています。カナダの義務教育期間は6~16歳で、日本のように6-3-3-4制ではなく、私がいるブリティッシュコロンビア州では7-5-2(4)制を導入しています。また、中等教育課程までの生徒のことをGrade1~12と表します。カナダは基準に達しなければ再履修になる制度があるので年齢はあくまでも目安です。

	初等教育						中等教育					
	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
アルバータ州 ニューブランズウィック州 ノバスコシア州 プリンスエドワード州 ニューファンドランド州	Elementary						J.H.5			S.H.5		
ブリティッシュコロンビア州	Elementary/Primary						Secondary					
オンタリオ州 マニトバ州	Elementary/Primary						Secondary					
サスカチュワン州	Elementary/Primary						Middle			Secondary		

州ごとの教育課程の違い

#### 1-2. 私が通っている学校について

私は Elphinstone Secondary School という公立の学校に通っています。生徒数は500人ほどの比較的小さな学校ですが、Grade8~Grade12の5学年の生徒がいるので生徒の年齢の幅は小石川と似ています。また、さほど多くはないですが複数の留学生を受け入れており私を含め日本、ドイツ、中国、韓国などからの生徒がいます。カナダの公立の中等教育学校は大抵決まったドレスコード(髪色、アクセサリ、服装に関する規則)がないので、初日は生徒のファッションの自由さに驚きました。

日本のように、決められた授業を受けるのではなく興味や進路に合わせて自分で時間割を作ります。進路によってというのは、カナダの大学入試において高校の成績が大事な要素を占めるため、志望大学・学部に必要な科目を履修する必要があると言う事です。Gradeは年齢によって決まっていますが、授業の空き席があればどの学年・教科の授業を受けるのも自由です。(学校と話し合う必要はあります。)したがって、授業のクラスの中で年上や年下の生徒がいることがいたって普通です。



玄関



玄関を入ったところ

### 1-3. 通学

私はスクールバスで登校しています。朝早くに登校するときはホストファミリーの出勤のついでに車に乗せてもらいます。徒歩で来たり、生徒自身の車で来たり（ブリティッシュコロンビア州では 16 歳から免許を取ることができます。）する生徒もいます。皆さんが海外のスクールバスと聞いて思い浮かぶような黄色いバスに乗っています。近くにある Elementary school（小学校）に行く子たちも乗せているので、とても賑やかで楽しいです。私が住んでいる地域の勾配が激しいこともあり椅子から振り落とされないように毎日必死の思いで座っています。現地の子たちは慣れているようですが。

### 1-4. 朝

日本のように、朝の HR はないので、登校したら授業が始まるまでは自由に過ごします。思い思いの場所で友達と話したり、体育館でバスケをしたりして遊ぶ生徒が多いです。Quiz と呼ばれる小テストのある日の朝は図書室が混んでいます。部活の朝練があったときは、この時間に朝食を食べる子もいます。

### 1-5. 授業

下の表が生徒のタイムスケジュールです。日本よりも時限の数が少ないですが、授業時間が長いのと聞き逃さないように集中し続けているのでかなり疲れてしまいます。

ランチは 2 限と 3 限の間に摂ります。

	1 限	2 限	ランチ	3 限	4 限
時刻	8:50~10:06	10:13~11:29		12:15~13:31	13:38~14:54

### 1-6. ランチ

私の学校にはカフェテリアがあるのでそこで買って食べる生徒と自分で家から持ってくる生徒が多い印象です。カフェテリアには様々なメニューがあり、スープやサンドイッチ、肉料理を含んだプレート料理、軽めのパンなどが買えます。ほぼ全てのメニューが日替わりです。”food studies”という授業の一環なので生徒が午前中の授業で作っています。

カフェテリアの食べ物は物価の高騰で値上がりしてしまったことと、味付けにまだ慣れてない（スパイシーなものが多いです）ので、私は家から持参することが多いです。授業で仲良くなった子たちとゆっくり話すことができるのでこの時間が楽しみになっています。

#### 4. 驚いたこと

今月は学校で驚いたことを紹介します。

##### ① pronoun

日本でも同じように、学校での最初の授業は先生の自己紹介も兼ねたガイダンスでした。ほとんどのクラスで自己紹介カードのようなもの（自分の母語が英語でない、このような作業が苦手といったことを先生に伝えることができる、授業をより快適にするためのアンケートの役割も兼ねています）を書いたのですが、そこで pronoun を聞かれたのが新鮮な経験でした。pronoun とは代名詞のことで自分の性別をどのように定義するか、自分が他の人にどう呼ばれたいのか（she/her や he/him、性別の枠にとらわれない they/them などがあります。）示すものです。

##### ② vegan menu

学校のカフェテリアに vegan の生徒に向けたメニューがありました。日本ではあまり見たことがなかったので、①のエピソードも含めて様々な背景を持つ人が暮らすカナダならではの感じました。

##### ③ 校内放送

他の学校もそうなのかは分かりませんが、私の学校では部活のミーティングのお知らせやカフェテリアのメニュー紹介などを校内放送で行います。かなりハイテンションな先生が担当されているのに加えて、授業中にいきなり放送されるので初めの方は毎回何事かとびっくりしました。少なくとも隣の学校も同じ感じらしいので地域のやり方なのかもしれません。

本当は科目のことにも触れたかったのですが、学校の紹介が思いのほか長くなってしまったので私が履修している科目については次号で書きたいと思います。また、来月はこれまでであったことも書こうと思います。今月も読んでくださりありがとうございました。

みなさんも体調にはお気をつけて。ではまた。

15期 武井

〈出典〉

日本国際交流振興会 (JFIE) ホームページ <https://www.jfie.gr.jp/highschool/education/>